

「あずみ苑行田」にて公演 (第71回)

5月8日行田市門井にある「あずみ苑行田」に行ってきました。ここは、株式会社レオパレス21が管理、運営している、デイサービス・ショートステイの施設で、要支援、要介護認定を受けている方々がご利用しています。

5月も中旬に差し掛かろうとしているのに、この日は3月下旬の気温、肌寒い日でした。苑の中は暖房がたかれ、中にいる利用者の方々には、最適なのでしょうが、外からの私達には、汗ばむ室温でした。(特に衣装をつけると)



デイサービス利用者の方々が30数名。私達 座員が控室にて準備していると、「北国の春」のカラオケの歌声。職員の方の指導で、カラオケに合わせて、体操の時間でした。準備が整い会場へ、大きな拍手と、元気な声で、迎えて頂き、いつもと違った雰囲気の中始まりです。

座長の挨拶、そして今回セッティングのIさんの挨拶。ここはさんの生まれ故郷の隣町、知人の方からの公演依頼となりました。

まずは、いつもの基本の玉すだれ。勢いのよい合いの手アツソレ、ホレホレと大きな声掛けを頂き、座員は乗せられ緊張は吹き飛び、笑顔と歓声の中で、始まりとなりました。

自己紹介では、座員の年齢を聞かれ、戸惑う場面もありましたが、質問者の年齢を問うと「35歳」と答えられましたので、私達は20代となりました(又大きな笑い声)

続いて『ああ人生に涙あり』、フルメンバーで最後のポーズもぴったり決まりました。





『きよしのズンドコ節』そして『麦畑』
玉すだれ3曲は、皆様良くご存知の曲で、
めくり台を見ては歓声をあげてくれます。

おかげで、座員は、多少のミスも笑顔で
やり過ごし、久しぶりの全員参加、大成功
でした。

Gさん Kさんコンビは、ハートではなく、
リングかな？・・・



Iさんのマジック、新聞紙の芸
は、黄色の水が出てきたのには
皆さんビックリ！！

Kさんの紐、ネクタイのマジッ
クも大成功。





Iさんのどじょう掬い、着替え前の10分、オカリナの演奏 N, Nコンビで3曲を演奏、最後のエーデルワイスは素晴らしかったとの話がありました。

トリは、軽妙な曲に合わせて、Iさんのどじょう掬い。大きな笑い声と、拍手。前列の皆様腰をかがめ、食い入るようにして、演技を見つめていました。



約1時間の公演でしたが、最後にお二方様より感想を頂きました。「これからも、玉すだれ精進して頑張ってください。」「また来てくださいね」のお言葉をいただき、私たちも元気をもらい帰途につきました。

記：中山 陽子